



社会福祉法人 であいの里 さやま保育園
2024年1月1日

＊＊保育目標 ご恩 つとめます＊＊

- ・お正月遊びをお家の人や友達と共に楽しむ。
- ・親鸞さまのご苦労されたお話を聴き、手を合わせる。



【法話】

ごしょうきほうおんこう
御正忌報恩講

新しい年、令和6年、2024年の新年を迎えました。あけまして おめでとうございます。

コロナの制限解除はあったものの、季節外れのインフルエンザ流行等、あつと言う間に過ぎてしまった1年でした。旧年中は、みなさま方には、感染予防に御理解御協力くださいましたこと、厚く御礼申し上げますとともに、職員含め当やさやま保育園に対し、大変お世話になりましたこと感謝致します。今年も、どうぞよろしくお願い致します。

1月には、18日に「かるた大会」(ほとけのこどもいろはかるた)そして15日には、「御正忌報恩講」を園でお勤めします。お正月を始めとする、日本の昔からの文化習慣を大切に感じていきたいと思ひます。

御正忌報恩講とは、お釈迦さまの説かれた南無阿弥陀仏のお念仏のみ教えを私たちにわかりやすく教えてくださった親鸞さまをしのび、報恩謝徳の行事です。

親鸞さまは、1173年5月21日に生まれられ、90歳の1月16日に往生されました。その御一生は、いばらの道でした。しかし「大悲の願船に乗じて光明の広海に浮かびぬれば、至徳の風 静かにして、衆禍の波転ず」と、阿弥陀さまの本願を信じ、念仏に生かされることによって、このいばらの道が、そのまま真実への道であることを、その身をもって私たちに教え示して下さいました一生でもあります。

御正忌報恩講は、親鸞さまの御法事です。ただ親鸞さま有り難うではなく、この私が、そのご苦労をしのび、親鸞さまが伝えてくださったお念仏の教えをしっかりと聴聞し、お念仏をよろこぶご縁とさせていただく行事です。まず私が、他力の信心を得て浄土往生を決定することが、親鸞聖人に対するなによりの御恩報謝となるのです。ただの親鸞様ありがたの行事ではないのです。

合 掌



今月の行事予定

1・2・3日 お正月休み 4・5・6日 特別保育
9・22日 礼拝 11日 通報・避難・消火訓練
発育測定(12日 ぞう・きりん 15日 うさぎ・りす
16日 あひる・ひよこ) 15日 御正忌報恩講
18日 かるた会 18日 クッキー作り 19日 誕生会
22日 卒園記念写真 佐山小学校との交流会
22～30日 ビッパラセール出品回収 26日 集金引落



「いっしょに 楽しい 子育てを」

さやま保育園のキャッチフレーズを「いっしょに楽しい子育てを」にしたのは、園舎が新しくなった平成13年に子育て支援センターを併設した時でした。共稼ぎの世帯が増え、これからの子育てを考え、お父さんお母さんが、子育てを楽しく感じていただきたい、子どもたちの成長を保育園といっしょに見守り楽しんでいただきたいという願いを込めて、大切に継続してきた思ひです。

11月下旬の約1週間、エントランスで、『やってみよう！ たのしい！』がいっぱい！！の想いのつまった、未満児さんの作品展を行いました。保護者のみなさんから、いただいた感想を一部紹介します。

「自分の作品が展示してあることに、子ども自身も嬉しそうでした。制作中の写真もあって、一生懸命作った様子もわかってよかったです。先生方のすてきなアイデアや工夫によって、とても楽しませていただきました。」「絵も昨年よりしっかり描けていました。トラックの作品も荷物の木の実等を子どもたちが集めたと思うと、とてもかわいく感じました。手形と足形で描いた木も、家ではなかなかできない体験だと思いました。」

「送迎の時に子どもといっしょに作品を見ることが出来て、とても良かったです。自分の作品を見て～とアピールしていて可愛かったです。他の子たちの作品もたくさん見ることが出来て、癒やされました。」

「とっても可愛い作品がたくさんで、通る度に幸せな気持ちになりました。……お友達の作品も教えてくれ、自由に楽しく作れたのだろうと嬉しくなりました。」
「作品だけでなく、作るまでの過程も知ることができ、本当に自分の思ひを込めて取り組んでいるんだなあということが伝わってきます。」

保護者のみなさんと、嬉しい思ひ・楽しい思ひを共有できることは、保育園として何より有り難いことです。年末のアンケートにたくさんのご意見をありがとうございました。行き届かないこと、御迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。一つひとつを真摯に受け止めて、これからの令和の時代においての『いっしょに楽しい子育て』を、保護者の皆様といっしょに模索していきたいと思ひます。

子どもたちをまん中にして、保護者の皆様も保育園職員も、共に『Well being』を感じられる保育園作りに精進させていただきます。